

有ハハ人とも同条下に小泉後流する本城
をある岡子と百石と有り小女川と書面を
以て考れば其別も宗依のつぎと見へり
又羽原記は豫州の名字を大泉といひ又
小泉と書くも所も有り小女川の字面を按
とせば小泉と書事ハ謬なるも一は小女川の
事未だ記を其長十九年施海郡飛ヶ崎村
と志村氏没後土尾津右近といふ人を其上
承より城代に至る事有り才と書し記
を右とといひ一人も同郡の人と見へり

去人の記は飛ハ
といふ人も有り或人云土尾津といふもと本城
の地名なりある城を土尾津ととも稱
せしといふ又一説はけ坂始ハ飛國領言
城に當り佐一後本城は移され一たといふ
け説是なるもや飛國領下蛇田村と土尾
津八幡といふあり又同領の内無管寺と赤
尾津成菩提所と云傳へり又同領松ヶ崎村
飛井山八幡宮として代々の領主崇教をこれ
一社あり又本城は飛井山八幡寺といふ
事なり